

ワケ カタチには理由がある(Q)

Shape follows Function & Taste

～カナディア・セイバー (Canadair Sabre) F.6



(↑ハルトマンの乗機 Bf-109G とともに)



(自動スラット→)

【出典:F-40 シリーズ「Canadair Sabre」】

本機は、カナダのカナディア社でノースアメリカン F-86F をライセンス生産した機体です。本家の F-86 は 1950 年から始まった朝鮮戦争で活躍します。戦後誕生した西ドイツ空軍には、英国空軍を介して納品されています。当時、西ドイツは敗戦から日が経っていませんでしたが、米国は、当時、東ドイツや東欧諸国と対峙していた西ドイツに、それなりの最先端戦闘機を装備してもらう必要があったのででしょう。大戦中のエースのエーリッヒ・ハルトマンが戦後西ドイツ空軍に復帰して第 71 戦闘航空団「リヒトフォーヘン」の司令官の任に着いた際に、同部隊は、ハルトマン乗機のトレードマーク、「ブラックチュールリップ」を機首に塗装しました。また、両機とも、主翼前縁に「ネズ爺&ハテナヤの特許探偵団 vol.38」で取り上げた英国ハンドレページ社の自動スラットを装備しており、この点でも共通点がありました。

【模型について】

韓国のアカデミー(Academy)製 1/72 の F-86F のインジェクションキットです(境界層板を廃止して、スラットを復活させています)。同キットはスラットを別パーツとしているため、本機を製作するには好適です。デカルはホビーボスのキットから流用したため、架空のものとなっています(この機体番号は迷彩塗装のもの)。 (中川裕幸 2021年3月, 改定 2023年7月)